

3. 津波が来たら

南海トラフの地震が発生したとき、津波の危険から命を守るための避難方法について、確認をしておきましょう。

■津波からの避難行動

津波が来る恐れのある場合は、一刻も早く指定緊急避難場所（津波避難ビル、緊急避難場所）などに避難してください。

（地図表記 津波避難ビル： 緊急避難場所：）



早く高くへ避難

津波が来る恐れのある場合、避難は「遠くへ」よりも「より早く、より高くへ」が基本です。強い揺れ、また弱くてもゆっくりとした長い揺れ（地震の揺れ）を感じたり、津波警報・大津波警報が発令された場合には津波から命を守るため、ただちに津波避難ビルや近くの高い堅牢な建物、高台などに避難してください。

津波避難の注意点

- 地震の揺れを感じたら、津波警報・大津波警報を待たずに**すぐに避難**する。
- 地震の揺れを感じなくても、津波警報・大津波警報が発表されたら**ただちに避難**する。
- 津波は繰り返し襲ってくる（数時間は続く）ので、津波警報等が解除され、周囲の安全が確認されるまで自宅などには帰らない。

津波発生時してはいけない避難対応

- 1. 車で避難する**
（信号が停止し、渋滞で動けなくなる。一方、身体が不自由な人など車での避難が必要な人もいます。）
- 2. 大したことはない、と思い込む**
- 3. 避難する場所を間違える**
（指定緊急避難場所と避難所を間違える）

指定緊急避難場所と避難所の違い

【指定緊急避難場所】
津波避難ビルや緊急避難場所など津波が来る恐れのある場合に緊急的に避難するための建物や高台、施設などを指します。

【避難所】
安全性が確認された後、救護・救援・情報の拠点となり自宅が被害にあった被災者が一定の期間避難し、生活を送る施設を指します。

■津波避難ビルの拡充

津波が来る恐れのある場合に緊急的に避難する建物を「津波避難ビル」と言い、徳島市では国が示したガイドラインに従い、津波避難ビルの拡充を進めています。

津波避難ビルに指定された建物（一部除く）には、右の看板が取り付けられています。

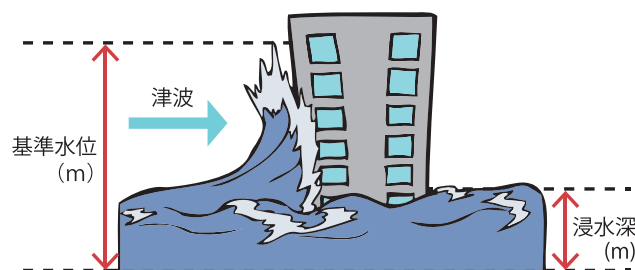
津波避難ビルの指定条件	(1) 鉄筋コンクリート造等の堅牢な建物（耐震性を有する建物） (2) 津波の基準水位以上の床標高を有する建物 (3) 避難に有効な階へ入口から自由に入ることができる建物など
-------------	---

基準水位とは・・・


津波浸水想定に定める水深にかかる水位に、建物等に衝突する津波の水位の上昇を考慮して、必要と認められる値を加えて定める水位をいいます。

基準水位は、徳島県のホームページで確認できます。

○徳島県ホームページ
安心とくしま <http://anshin.pref.tokushima.jp/>



■かぎ保管庫について

学校やオートロック式マンションなどの津波避難ビルには、津波が来る恐れのある場合に夜間・休日でも円滑な避難が行えるよう、地震連動自動解錠「かぎ保管庫」（地図表記：）が設置されています。

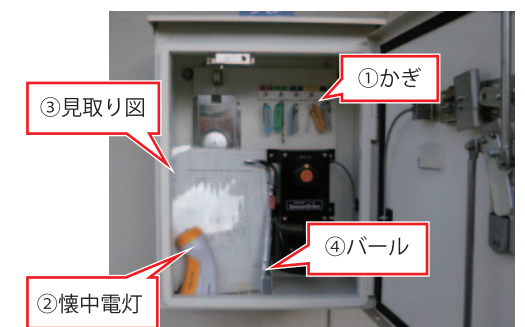
●「かぎ保管庫」の特徴

- ①震度5強以上の揺れを感じると自動的に解錠する
- ②日常的な軽い振動では作動しない



●「かぎ保管庫」の中身

- ①入口のかぎ
- ②手動式懐中電灯
- ③施設の見取り図（入口のかぎの位置を示したものの）
- ④バール（破壊器具）



「かぎ保管庫」が設置されている津波避難ビルの近隣にお住まいの皆様へ

「かぎ保管庫」が設置されている津波避難ビルの近隣にお住まいの方は、「かぎ保管庫」の場所を確認しておいてください。そして、いざという時には右の手順で対応し、スムーズな避難行動がとれるようご協力をお願いいたします。

地震発生時の対応

- ①最初に到着した人がハンドルを回し「かぎ保管庫」を開ける
- ↓
- ②かぎを取り出す
- ↓
- ③上階への入口を開放する

徳島市からのお願い

- **津波避難ビル指定拡充について**
徳島市では、南海トラフの地震に伴う津波の発生に備え、津波が来る恐れのある場合に緊急的に避難する建物として津波避難ビルを指定しておりますが、平成24年10月31日に徳島県から公表された「津波浸水想定」において、津波浸水域がこれまでの想定より大きく広がったことから、さらなる津波避難ビルの指定拡充が必要となっております。今後も津波浸水の恐れがある地域において、津波避難ビルの指定拡充を進めてまいりますので、市民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。
- **津波避難ビルに避難を考えている皆様へ**
津波避難ビルは、津波が来る恐れのある場合にのみ緊急的に避難することができる建物であり、**通常時は利用することができません**。また、利用できる場所についても満員になる場合が考えられますので、普段からいくつかの津波避難ビルを把握しておいてください。また、津波避難ビルには食糧や水は備えていませんので、その場で数時間程度とどまる可能性も考え、できる限り非常持出袋を持って避難し、マナーを守ってご利用いただきますようお願いいたします。
- **津波避難ビルに指定されていない高層建物などの関係者様へ**
徳島市では、津波浸水の恐れがある地域において、津波避難ビルの指定拡充を進めていますが、未指定の建物もたくさん存在します。津波が来る恐れのある場合には、地域の方が一時的に避難できるよう入口を開放するなど、受け入れについてご理解、ご協力をお願いいたします。